

清水東公民館

清水東公民館 福井学事業

越前すげ笠の未来伝承事業

～伝統を学び、地域を愛し、未来へつなぐ～(清水東公民館)

- 事業の目的 清水東地区の伝統工芸「すげ笠」を学ぶことで、子どもたちが地元に愛着を持ち、「住み続けたい街」になるきっかけづくりを目指します。
- 主な活動内容 全6回の体験・学習を通して、地域の伝統文化や歴史の魅力を深掘りしました。

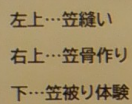
SUGE博士育成学習【全3回シリーズ】

①「すげ刈体験とすげの学習」



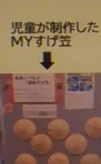
「すげ刈体験では猛暑の中での作業の大変さを実感。あわせて、一つの笠に必要な「すげ」の量など歴史や特徴を深掘りし、先人の知恵や苦労を身をもって学びました。

②「すげ笠学習」



マイすげ笠づくりに向けた2回目の学習。笠を被り耐水性を実体験したほか、「骨組み作り」や「笠縫い」の見学・実習を通して構造を学び、次回の製作に向けて理解を深めました。

③「すげ笠づくり体験」



すげ笠学習の締めくくりとして実際の笠縫いを体験。職人の高い技術のすごさを肌で体感し、伝統を後世に残したい気持ちが深まりました。

清水まつりでマスコットづくり体験



清水中学校「清水活性化プロジェクト(SDKP)」にて、すげ笠PR用のオリジナル「すげちゃんマスコット」作りブースを中学生が企画から運営まで手掛けました。

大豆がきな粉に変身



「大豆は何に変身するのか？」をテーマに学習。地域のお宅にあった石臼を借り、昔を知る地域の方々と一緒にきな粉作りを行いました。石臼を回す工程の大変さを通して、先人の知恵と食への関心を深めました。

清水東のお宝伝え隊



小学6年生が地元の祭りや自然、神社等を調査し聞き取りを実施。普段当たり前にある景色の価値や有難さに触れ、地域のすごさを再発見しました。自らの手で調査することで、清水東の魅力や宝に気づく貴重な機会となりました。

■ 学習を通しての成果

- ・子どもたちの変化…伝統や昔の暮らしに触れる実習・調査など、主体的に関わる場を通して、郷土への理解と愛着が深まりました。
- ・子どもから地域全体へ…「子どもたちに伝えたい」という想いから地域住民も自ら学び直し、大人にとっても地域の魅力を深掘りするきっかけとなりました。

■ 今後の展望

- ・学習の深化…体験ごとの理解度にあわせ、事前・事後学習の工夫やサポートの充実。
 - ・持続的な伝承…子どもたちが楽しみながら継承に関われるよう、多彩な体験アイデアを取り入れま
- す。さらに、子どもたちのために地域の大人も意欲的に関われる「橋渡し」となり、地域全体のつながりの拡大を目指します。